

平成29年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	コミュニティバス運行助成事業	会計	款	項	目	多額 経費
		一般	8	4	1	○
政策	32都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	都市政策室			
施策	322利便性の高い公共交通体系の充実	担当課室長	佐瀬 功			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	コミュニティバス運業者をプロポーザルで決定し、土、日曜日の運行、1日の運行本数の増便、定時性の確保、路線の拡張等を盛り込んだ運行計画を実施する。	③平成29年度に取り組む改革・改善内容	市内5ルート週7日運行の利用状況や要望等を把握し、今後の改革・改善が可能か検討。
②①に基づく取り組み結果	バス会社3社による市内4ルート月曜日から金曜日の運行を、平成28年11月1日からバス会社3社による市内5ルートに変更し週7日に増便運行した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	交通不便地域の住民、高齢者を中心とした移動手段弱者	意図(対象をどうするのか)	交通手段の確保
②事務事業の概要	バス会社3社による市内4ルート月曜日から金曜日の運行を平成28年11月1日からバス会社3社による市内5ルートに変更、週7日に増便運行し、運行経費と利用客数に応じ限度額を定め補助を支出。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	週7日運行と高齢者の増加により利用客が増加する見込みで、今後、サービス向上(バス停のベンチや屋根の設置)が望まれる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成28年度の事業の成果	利用客数 90,089人(前年度比21.6%増)						
②成果を表す指標	指標名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	算定根拠	
	i	コミュニティバス利用者数	74771	74075	90089	人	業務取得
	ii						
iii							
③事務事業のコスト	平成27年度決算	平成28年度決算	平成28年度決算(事業費)の主な内訳		平成29年度予算		
事業費(千円)	20182	32429	金額(千円)	内容	48140		
国支出金(千円)			49	報償費	0		
県支出金(千円)			513	時刻表印刷	0		
市債その他(千円)	5000	5000	154	時刻表看板	5000		
一般財源(千円)	15182	27429	31713	補助金	43140		

IV 評価・検討

①課題	西線、西線2のワンボックスタイプをバスタイプに変更の要望がある。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	1低い	
③上記評価の理由	高齢化社会の対応として、地域活動や生涯学習などの参加からコミュニティバスの運行は必要不可欠である。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成28年度の計画	補助金、時刻表等修正	平成28年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	補助金、時刻表等修正	37778	37778	当初	3778	H27からの繰越	0	
				H27⇒28繰越	0			
③達成状況	完了			補正	0	32429	現年分	32429
				流用・充当	0			
④未完了・非着手の理由		平成29年度への繰越額(単位:千円)		0				

平成29年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	北総鉄道耐震化助成事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	1	○
政策	32都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	都市政策室			
施策	322利便性の高い公共交通体系の充実	担当課室長	佐瀬 功			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	高架橋柱補強 504本 落橋防止 13.5連	③平成29年度に取組む改革・改善内容	高架橋柱補強 596本 橋脚補強 1基 落橋防止 14連
②①に基づく取組み結果	補助金を適正に支出した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	高架橋柱、橋脚、橋桁	意図(対象をどうするのか)	首都圏直下型地震等による高架構造物の倒壊を防ぐ
②事務事業の概要	首都直下地震等の大規模地震に備えるとともに、北総鉄道を利用する市民及び鉄道施設付近に居住する市民等の安全を確保するため、国、県、沿線6市と協調し事業費を助成するもの。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	熊本での地震により、公共建築物、高架構造物の耐震性については、市民の関心が高まっていると考えられる。平成29年度には596本の柱補強、1基の橋脚補強、14連の橋の落橋防止工事を行い、補強工事が完了する。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成28年度の事業の成果	高架橋柱補強504本、落橋防止13.5連の工事に対し、鎌ヶ谷市負担分として23,224千円の補助を行った。				
②成果を表す指標	指標名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	算定根拠
	i 高架橋柱補強		374	504	本 業務取得
	ii 落橋防止		6.5	13.5	連 業務取得
	iii 橋脚補強		2		基 業務取得
③事務事業のコスト	平成27年度決算	平成28年度決算	平成28年度決算(事業費)の主な内訳		平成29年度予算
事業費(千円)	17282	23224	金額(千円)	内容	27723
	国支出金(千円)		23224	補助金	
	県支出金(千円)				
	市債その他(千円)				
	一般財源(千円)	17282	23224		27723

IV 評価・検討

①課題	平成27年度から29年度の3年で完成させる。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	首都圏直下型地震は、30年以内に70%程度の確率で起こると想定されており、対策を進めておく必要がある。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成28年度の計画	補助金	平成28年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	補助金	23321	23321	当初	23321	23224	H27からの繰越	0
				補正			現年分	23224
③達成状況	完了		流用・充当					
④未完了・非着手の理由			平成29年度への繰越額(単位:千円)		0			

平成29年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	都市軸形成促進事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	2	○
政策	31魅力あふれるまちづくりを進めます	担当課室	都市計画課			
施策	313質の高い既成市街地の整備	担当課室長	横山 吉治			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	【東鎌西口】地域の活性化に向けて、引き続き商工振興課とも連携しながら、支援策の検討を行う。 【初富】初富駅前広場等の整備に向けて、整備箇所周辺の現況測量を実施する。また、事業計画について、地域住民等への周知を図る。	③平成29年度に取り組む改革・改善内容	引き続き、事業計画について地域住民等の協力、また、事業実施に向けての用地・路線測量及び関係機関との調整を行う。
②①に基づく取り組み結果	初富地区について、事業の基礎調査として現況測量を実施した。また、事業計画について、関係地権者をはじめとする地域住民等へ周知を図った。東鎌西口地区は地域の活性化に向けて地元まちづくり団体等と意見交換を行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	初富駅周辺地区	意図(対象をどうするのか)	初富駅へのアクセスルートと駅前広場の整備を行う。
②事務事業の概要				
都市軸の一翼を担う初富駅周辺地区において、都市基盤整備の必要性を明らかにし、計画的な市街地の形成を図る。初富駅は、新京成線連続立体交差事業が平成31年度に供用開始に向けたスケジュールが示されたこと、また駅前へのアクセスルート及び駅前広場の必要性から、昨年度整備計画を策定し、今後、地域住民や関係機関と協議を行いながら事業を推進していく。その他の関連事業は必要により地域住民と意見交換等を行う。				
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)				
新京成線連続立体交差事業が平成31年度に供用開始が見込まれる状況と、駅前広場及びアクセスルートの整備を促進する必要がある。				

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成28年度の事業の成果		初富駅周辺地区の現況測量調査を実施した。また、事業計画について、関係地権者をはじめとする地域住民等への周知を図った。					
②成果を表す指標	指標名称		平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	算定根拠
	i	道路整備着手延長(東鎌西口)	125	-	-	m	業務取得
	ii	用地取得面積(初富)	0	265	0	m ²	業務取得
	iii	鎌ヶ谷市を住みよいと答えた市民割合	-	-	-	%	市民意識調査
③事務事業のコスト		平成27年度決算	平成28年度決算	平成28年度決算(事業費)の主な内訳		平成29年度予算	
事業費(千円)		30,511	1,620	金額(千円)	内容	4,000	
国支出金(千円)		0	0	1,620	初富駅周辺現況測量委託	0	
県支出金(千円)		0	0			0	
市債その他(千円)		24,500	0			0	
一般財源(千円)		6,011	1,620			4,000	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	初富駅周辺地区は、主要地方道及び主要市道に囲まれ交通量が多く、また近隣商業地域という特性から商業施設を含む多くの建物が密集している地区である。このことから事業の推進に伴っては、新たな用地の確保や建物移転等が伴うため、関係住民の理解と関係機関との調整が必要である。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	事業は市の都市基盤としての整備と、通学路の安全性を高める側面から実施する事業である。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成28年度の計画	現況測量	平成28年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	事業の実施に向けた現況測量が完了した。	2,000	2,000	当初	2,000	1,620	H27からの繰越	0
				H27⇒28繰越	0		現年分	1,620
③達成状況	完了			補正	0			
④未完了・非着手の理由				流用・充当	0			
		平成29年度への繰越額(単位:千円)						0

平成29年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	新鎌ヶ谷駅周辺地区市街地整備促進事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	2	○
政策	31魅力あふれるまちづくりを進めます	担当課室	都市計画課			
施策	311広域交流拠点の整備	担当課室長	横山 吉治			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	平成27年度における実施事業は無いため、評価無し	③平成29年度に取組む改革・改善内容	平成28年度の検討業務を受け、検討結果の情報共有を図るとともに、庁内の横断的な検討体制の構築も含め、引き続き土地活用に向けた検討業務に取り組む。
②①に基づく取組み結果	上記理由のため、①に基づく取組みは無し		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	新鎌ヶ谷駅周辺地区	意図(対象をどうするのか)	地区の回遊性の確保や利便性の向上を図る
②事務事業の概要	新鎌ヶ谷駅周辺地区が、魅力と活気にあふれる中心市街地として形成されるよう、土地利用の推進や通路の整備等を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	東京10号線延伸新線の事業化の検討中止や、新京成線連続立体交差事業の進捗に伴い、新鎌ヶ谷駅周辺地区における土地利用の形態に大きな変化が見込まれる時期であるため、上記事業への取組みが非常に重要である。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成28年度の事業の成果	「新鎌ヶ谷駅周辺地区土地活用検討業務委託」により、新鎌ヶ谷駅南側に立地する東京10号線延伸新線跡地について、庁内及び一般企業の意向調査を経て、土地活用の可能性を検討し、土地活用イメージとして取りまとめた。					
②成果を表す指標	指標名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	算定根拠
	i 新鎌ヶ谷駅乗降客数	95,703	97,619	調査中	人/日	業務取得
	ii 新鎌ヶ谷地区事業所数	234	236	245	件	業務取得
	iii 新鎌ヶ谷地区市街地整備促進事業進捗率	49	49	51	%	業務取得
③事務事業のコスト	平成27年度決算	平成28年度決算	平成28年度決算(事業費)の主な内訳		平成29年度予算	
事業費(千円)	0	8,100	金額(千円)	内容	0	
国支出金(千円)	0	0	8,100	新鎌ヶ谷駅周辺地区土地活用検討業務委託	0	
県支出金(千円)	0	0			0	
市債その他(千円)	0	0			0	
一般財源(千円)	0	8,100			0	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	東京10号線跡地利用の活用方法について、市の役割についての検討、また駅周辺の回遊性を高めるために鉄道事業者等との調整が引き続き必要である。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	鎌ヶ谷市の顔となる同地区については、市街地形成の更なる促進が必要である。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成28年度の計画	調査委託	平成28年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	土地活用検討業務委託を発注し、予定どおり完了した。	8,600	8,600	当初	8,600	H27からの繰越	0
				H27⇒28繰越	0		
③達成状況	完了			補正	0	現年分	8,100
				流用・充当	0		
④未完了・非着手の理由		平成29年度への繰越額(単位:千円) 0					